記入要領、記入例は削除して提出ください

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）

次期「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）」の課題候補

「マテリアルプロセスイノベーション基盤技術の整備」に係る

フィージビリティスタディ（FS）実施に関する調査研究

個別テーマの技術実現性等調査

企画提案書

**１．提案（技術シーズを使った事業）の名称**

※FSとして採択された場合、その後、別名称に変更可能です（変更しなくても構いません）。

**２．マテリアルユニコーンにかけるモチベーションについて**

※何故、本提案による事業化を思い立つに至ったか、何故、スタートアップを創出しマテリアルユニコーンを目指すことを思い至ったか、採択後、具体的にどのような事業に繋げようと考えているか、自由に記載ください。

**３．事業化が可能と判断した、技術シーズの内容、革新性・優位性**

（１）技術の内容　：

※これまでに得られている研究成果について、実際のデータを基に定量的、具体的に記載ください

（パワーポイント１０ページ以内の技術シーズ補足説明資料として本申請書と別に提出可。）

（２）技術の革新性・優位性　：

※技術シーズの革新性・優位性について、背景や技術動向を踏まえて、新市場を創出する可能性、社会や市場に与えるインパクト等を記載してください。

（３）国内外動向も踏まえた、類似技術・先行技術等の状況分析：

※比較対象となる技術の文献・特許、公開情報に関する内容を記載してください。現時点で、直接的に比較できる対象がない場合、対象を広げ、将来、後追いで競合となりうる関連技術、周辺技術、代替技術などの脅威を記載してください。

※類似研究・先行技術の進捗状況、達成見込みについて分かる範囲で調べて記載してください。

※将来（短期および中長期）、競合との競争環境がどのような状況となるか、可能な範囲で予測して、記載してください。

**４．技術シーズによる事業が想定する製品・サービスについて**

（１）想定する製品・サービス、市場規模等

※想定する具体的な応用分野、想定している顧客用途、想定される顧客の使用機会などについて記載ください。（現時点でのイメージで結構ですが、できるだけ具体的に。）

※グローバル市場への展開可能性などについても考慮して記載ください。

※企業からの問い合わせ等、市場からの反応などがある場合は記載ください。

**５．技術シーズの発明、アライアンス、研究業績**

（１）発明（周辺特許を含む）　：

※当該技術シーズに関する主な知的財産権などを記載ください。

※特許の場合、発明の名称、特許番号（または出願番号）、発明者、出願人、出願日を必ず記載してください。

　　記載例：aaaの装置およびその製造方法、第xxx号(特願20yy-zzz)、○○○○、xyz大学、20xx年y月z日出願

※特許以外の知的財産権の場合、上記同様の情報を記載してください。

※特許を保有していない場合は、その旨を記載ください。

（２）当該技術シーズに関するアライアンスやライセンス契約等の状況　：

※当該技術シーズについて、既に企業と共同研究を行っている場合やライセンス契約等がある場合は、その状況について具体的に記載ください。

（３）当該技術シーズの創出、育成に寄与した公的支援制度　：

※当該技術シーズの創出に関して、支援を受けた競争的研究資金、助成金などがある場合は記載ください。

（４）当該技術シーズに関連する研究業績　：

※技術シーズに関係する研究論文、国際会議での発表、著書があれば記載ください(技術シーズと関係ない研究論文等は記載する必要はありません)。

※箇条書きとし、著者名、タイトル、掲載誌名（書籍名）、巻、号、ページ、発行年等の情報、また審査員がポイントをおさえやすいように、概要も含めて記載ください。

※論文等の業績が多い場合、本提案に関係する業績に絞り込んでください。

（申請書のページ制限（全体でＡ４・１０枚までを目安）を遵守ください）

**６．研究開発計画**

（１）事業化に向けた研究開発の内容と最終目標

※事業化を行うために必要な研究開発と目標を具体的に記載してください。

（２）具体的な研究開発項目とスケジュール

※上記（１）の目標に対して、達成や解決が必要と想定している研究開発項目とスケジュールについて具体的かつ明確に記載してください。複数記載いただいてもかまいません。

※マイルストンの設定が必要な場合は、具体的に記載して下さい。

**７．事業推進の体制**

（１）申請代表者

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **氏名** | **所属機関名** | **部署名** | **役職** | **役割分担** |
| ○山○夫 | ○○大学 | 大学院工学研究科 | 特任助教 | 事業全体の統括、○○の知財取得 |

（２）プロジェクト参加者

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **氏名** | **所属機関名** | **部署名** | **役職** | **役割分担** |
| ○藤○子 | ○○大学 | 大学院工学研究科 | 特任助教 | 経営者候補：ビジネスモデル検証、顧客候補の評価結果入手 |
| ○村○郎 | ○○大学 | 大学院農学研究科 | 准教授 | ○○試験、カルタヘナ法対応 |
| ○○○○ | ○○大学 | 大学院工学研究科※申請代表者とともにプロジェクトに参画する研究者・学生（RA）等がいる場合は本欄に記載ください。（いない場合は無理に記載をする必要はありません） | 研究員 | △△試験、特許明細作成、先行文献調査 |
| ○○○○ | ○○大学 | 大学院工学研究科 | 博士２年 | フィールドテスト補助（リサーチアシスタント） |

**８．技術実証（技術PoC）の実施計画**

（１）事業化を検討する上で実施をしたい技術実証（技術PoC）の内容

※事業化を検討する上で、事業化の為に確認が必要と考えられる、或いは条件となるような技術実証（技術PoC）がもしあればここに記載をしてください。

（２）具体的な実証項目とスケジュール

※上記（１）の実証に対して、どのような手段で実施しようとしているか、得ようとしている実証の目標や想定される結果など、実証項目とスケジュールについて具体的かつ明確に記載してください。複数記載いただいてもかまいません。

※マイルストンの設定が必要な場合は、具体的に記載して下さい。

**９．ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する指標**

|  |
| --- |
| 認定等の有無： |
| 認定等の名称：（認定段階： ）　　　　　　 （計画期間：令和○年○月○日～令和○年○月○日） |

注１ えるぼし認定、プラチナえるぼし認定、くるみん認定、トライくるみん認定、プラチナくるみん認定及びユースエール認定については、認定通知書の写しを、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画（策定義務のない事業主（常時雇用する労働者が 300人以下のもの）が努力義務により届出たものに限る。）については、労働局の受付印のある一般事業主行動計画策定届の写しを添付すること。

注２ 認定段階については、えるぼし認定の認定段階（１～３）を、計画期間については、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律及び次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画に示された計画期間を明記すること。

注３ 事業者の経営における主たる事業所（本社等）において取得しており、かつ、提案書提出時点において認定等の期間中であるものに限る。

以上